

# 農作業コツのコツ

【第12号】

令和2年7月11日

福光農業改良協議会

砺波農林振興センター南砺班

福光農業協同組合 営農部

早生

間もなく出穂期です。適切な水管理で土壌水分を保ち、稲体の活力を維持しましょう。

7月に入り梅雨らしい日が続いています。水稻の生育は、早生品種で平年より2日程度早く、コシヒカリ、てんこもりでは平年並みとなっています。また直播栽培は、茎数が平年より多くなっています。

今後も気温が平年より高くなると予報されています。各ほ場の生育に応じた適切な**穂肥施用**と、稲体の活力維持のための**水管理**、斑点米カメムシ類の**防除**を徹底しましょう。

## 水稻の生育状況

(7月7日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈(cm)		株当たり茎数(本)		葉齢(葉)		葉色		幼穂形成期 ※R2は予想日		
	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	R2	平年	
コシヒカリ	5/15	5/13	68.0	67.0	22.0	21.4	11.8	11.8	3.9	4.1	(7/12)	7/11	
てんこもり	5/ 8	5/ 8	60.9	58.7	27.8	33.1	12.6	12.6	4.2	4.2	(7/14)	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/17	5/14	65.1	63.0	21.2	32.5	11.6	12.1	4.1	4.2	(7/17)	7/13
	てんこもり	5/10	5/10	57.6	60.2	29.8	37.0	12.9	12.5	4.2	4.3	(7/14)	7/13
直播	カルパーコシ	5/ 2	4/29	68.5	64.0	174.8	159.9	11.4	10.8	3.9	4.1	(7/15)	7/15
	鉄コ コシ	5/ 3	4/29	59.1	61.8	175.8	163.4	11.5	11.0	4.3	4.2	(7/16)	7/15
	鉄コ てんこ	4/30	5/ 1	53.8	53.8	200.0	212.2	11.9	11.7	4.3	4.4	(7/21)	7/20

調査筆数: コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ4筆 密苗てんこもり2筆 直播は各2筆

※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

## 水 稲

### 1 穂肥施用

#### (1) とみちから、五百万石

出穂前の葉色を改めて確認し、**とみちからは葉色4.5以下、五百万石は葉色4.2以下**の場合は、**出穂期前に追肥3号**を10a当たり**7~10kg施用**しましょう。

#### ○出穂期予想

	田植日	出穂期予想
とみちから	5月3日	7月15日
五百万石	5月4日	7月16日

#### (2) コシヒカリ

①**肥効調節(一発)体系**(基肥: Jコートコシヒカリ2号)の場合  
原則、穂肥の施用は不要です。

②**分施肥体系**(基肥: 基肥555)の場合

幼穂長15mm頃(5月15日田植えで7月19日頃)の時期に生育状況を確認し、下表に基づき、追肥3号を施用しましょう。

#### ○幼穂長15mm頃のコシヒカリの姿

草丈	82cm以下	83~85cm	86cm以上
葉色	3.6程度	3.8程度	4.0以上
稲の姿等	ガッチリしている	ややメラついている	メラつく

#### ○穂肥の目安

1回目	施用時期	幼穂長15mm (幼穂形成期から7日後)	幼穂長20mm (幼穂形成期から9日後)	施用しない	
	10a当たり施用量	10kg	7~10kg		
2回目	施用時期	1回目の1週間後	1回目の1週間後	幼穂形成期から2週間後	
	10a当たり施用量	粘質土以外	12kg	12kg	12kg以下
		粘質土	11kg	11kg	11kg

※施用量等、詳しくは地区担当指導員に問合わせください。

コシヒカリ

生育状況を見て穂肥は慎重に。

てんこもり

葉色が淡い場合は直ちに追肥を。

### (3) てんこもり

#### ①肥効調節（一発）体系（基肥：L P s s 晩生専用）の場合

- ・原則、穂肥の施用は不要です。
- ・ただし、幼穂形成期前後、葉色が4.0以下の場合は、直ちに追肥3号を10a当たり1.1kg程度施用しましょう。

#### ②分施肥体系（基肥：基肥555）の場合

1回目穂肥は幼穂を確認したら直ちに（5月8日田植えで7月12日頃）施用しましょう。

#### ○てんこもりの穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目
	幼穂を確認したら直ちに (幼穂長1mm時)	
10a 当たり施用量 (使用肥料：追肥3号)	1.1kg	1.3kg

## 2 水管理

### (1) とみちから、五百万石

出穂期までは飽水管理、出穂後は20日間の湛水管理とし、稲体の活力を維持しましょう。

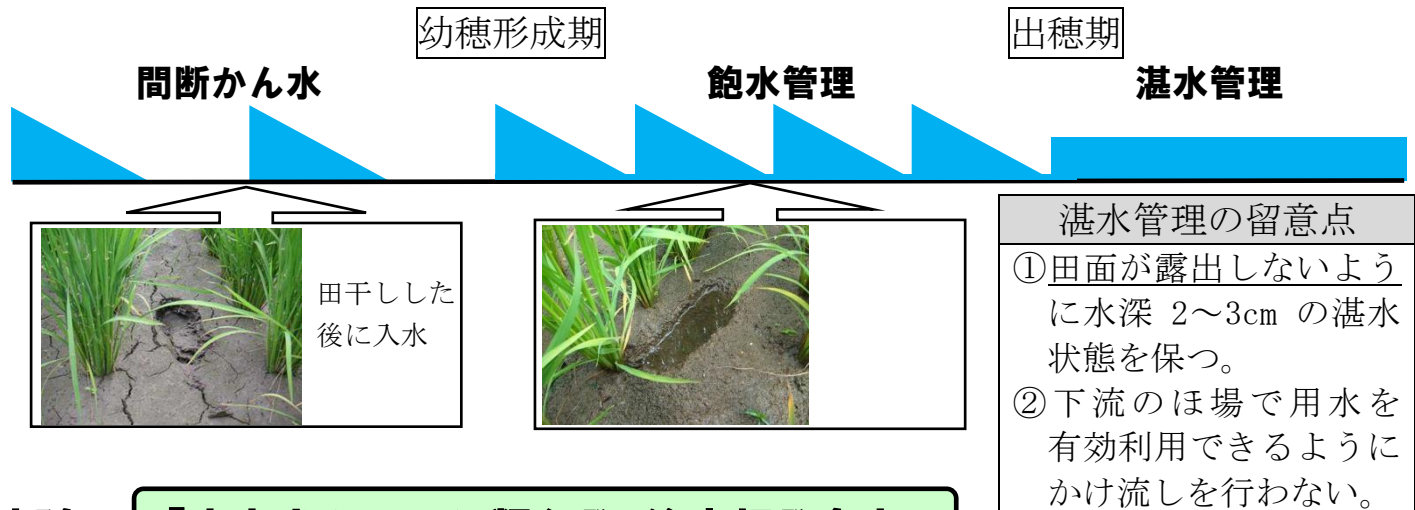
### (2) コシヒカリ、てんこもり

- ・出穂期まで飽水管理を行い、土壌の湿潤状態を保ちましょう。
- ・葉色が濃く、ほ場が軟らかい場合は、間断かん水を継続しましょう。

### (3) 直播

- ・幼穂形成期まで間断かん水を行い、茎数が多いほ場では落水期間が長めの間断かん水を行いましょう。
- ・幼穂形成期以降は飽水管理に切り替えましょう。

#### ○水管理のイメージ



## 3 防除

**「斑点米カメムシ類多発」注意報発令中！**

適期に2回の防除を徹底し、カメムシ類による斑点米の発生を防ぎましょう。

#### ○防除時期の目安（移植・粉剤）

品種	防除時期の目安			薬剤名	散布量
五百万石 とみちから	1回目	7月15日~19日	穂が全体の90%出た頃	ビームスタークル粉剤 5DL	4kg/10a
	2回目	7月22日~26日	1回目の1週間後	キラップ粉剤 DL	
コシヒカリ てんこもり	1回目	7月31日~8月4日	穂が全体の40~50%出た頃	ビームスタークル粉剤 5DL	
	2回目	8月7日~11日	1回目の1週間後	キラップ粉剤 DL	

(注) ① 1回目防除と2回目防除の間隔は、7日間とし、10日以上空けないようにしましょう。

② 薬剤は、畦畔にもしっかりとかかるようゆっくり散布しましょう。

③ 早生品種は、2回目防除後もカメムシ類が多い場合は、トレボン粉剤 DL で追加防除しましょう。

**カメムシ類を抑えるため、雑草の穂が出ないように基本防除までこまめに草刈りを。**